

新施工技術

ノン溶接・簡易施工のRC造サッシ工法

C.S工法

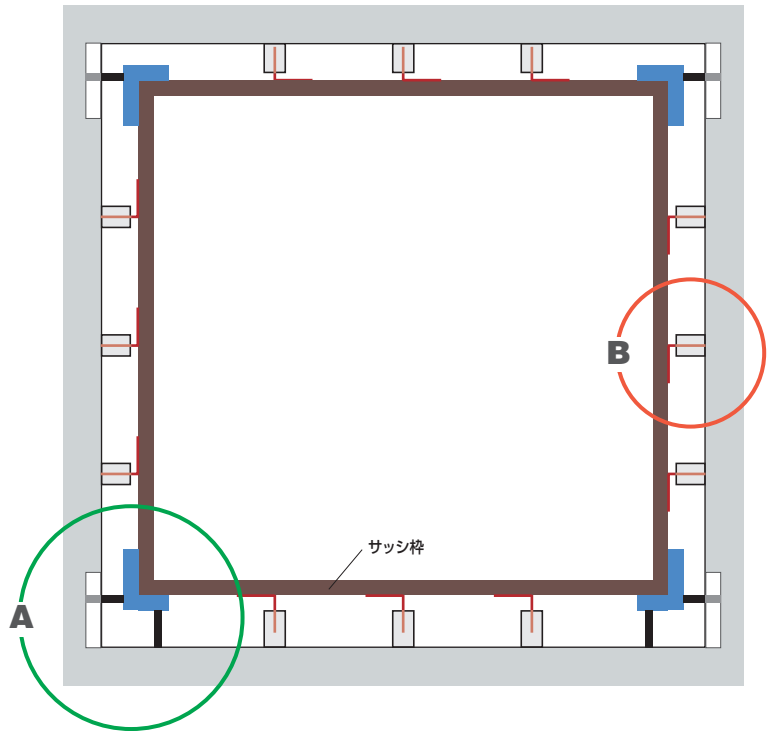
RC造向けに、溶接不要で省施工・高精度を確保するC.S工法を開発しました。現場の安全性と合理化を一步進める、画期的なサッシ施工技術として高い評価を得ています。

- 溶接火花によるサッシの損傷・汚れがなく、熱歪みやクサビ除去時の寸法変化がないので、高い取り付け精度が確保されます。
- 溶接配線のケーブルや仮設電源の持ち回りが不要で、現場の安全性が向上します。
- 取り付けが簡易化し、職人技能が不要となります。
- 取り付け施工の迅速化が図れます。
- 一般のRC造サッシがそのまま使え、在工価格も従来と同等です。

C.S工法のポイントと利点

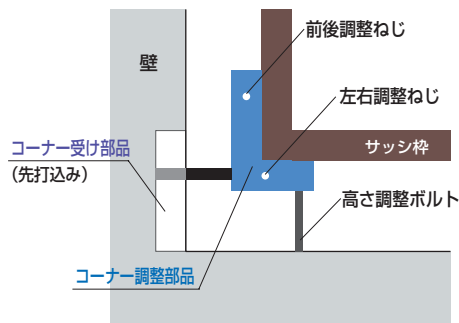
従来のRC造サッシの取り付けは、木製クサビを数ヵ所に積み重ねて位置決めし、サッシ枠はアンカーと差し筋を溶接してモルタル詰めで固定する手順で行なっています。

C.S工法では……



A サッシの位置決め調整

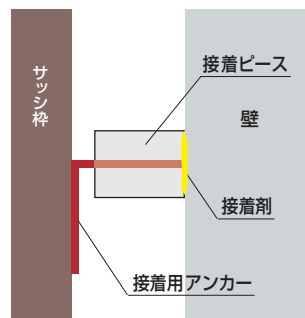
- サッシの建て込みは、コーナー調整部品(サッシ4隅コーナーに現地取り付け)をコーナー受け部品(壁側に先打込み)にワンタッチではめ込みます。
- サッシの位置決め調整は、コーナー調整部品のネジで調整します。



- ◆ドライバーで、高精度・スピーディに位置決め固定ができます。
- ◆従来のようなクサビの持ち回りが不要となり、作業性が向上します。

B サッシ枠の固定

- サッシ枠の固定は、サッシ枠に取り付けた接着用アンカーに、接着ピースをはめ込みながら、壁に接着付けします。
- 最後にモルタルを詰めて、サッシ枠を固定します。



- ◆溶接火花が発生しないため、安全・クリーンな現場となります。
- ◆接着付けは、簡単・スピーディで溶接配線の持ち回りも不要となります。
- ◆溶接によるサッシ枠の変形等が解消できます。
- ◆壁側の溶接用差し筋の先打込みが不要となります。